

新型コロナ対策で補正予算を編成(4.5.6月で2755億5800万円)・山口議員6月本議会で代表質問



コロナ禍の対策で3か月にわたり補正予算を審議して、市民生活の安定のため追加の予算を組み、事業継続のための支援や内定を取り消された学生への支援、失業されている方を対象に特別採用を行いました。

今回の福岡市の補正予算の規模は、4月は2,695億4,600万円(市単独で110億6,000万円余)、5月は36億600万円、6月は60億600万円になります。

また、福岡市では、家賃補助や休業補償金、また医療従事者等へ給付金など支援を行いました。今は、国や県の支援給付が進行中ですので、対象の方は是非申請をお願い致します。詳しい支援情報は、福岡市のホームページをご覧ください。

山口議員は、6月15日から開催されました福岡市議会で18日の一般質問で公明党市議団を代表して登壇致しました。質問のテーマは、①コロナ対策の支援状況について ②学校の再開と今後の学習支援について ③災害時の避難所運営についての3点です。

① コロナ対策の支援状況について

質問 様々な支援策を講じているが、経済活動が戻ってきていない。市民生活でもこれまでのような取組みが難しいが、今後の方針を示して欲しい。

答弁 これまでの支援策を丁寧に周知し、実効性あるものとする。市民の皆様には第2波の発生をできるだけ遅らせてPCR検査センターの増設や新しい生活様式・業種ごとの感染予防ガイドラインを積極的に周知・啓発していく。



② 学校の再開と今後の学習支援について

質問 長期休業で学びと感染の不安があるが、これからの対応について問う。

答弁 休業中は留守家庭子ども会に大変協力いただき感謝している。これからはオンライン授業も開始して、学びを取り戻す工夫をする。所得の減少した世帯へは、修学援助を案内する。また、感染症対策でも子どもたちの命と健康を守っていく。



③ 災害時の避難所運営について

質問 コロナ対策を含め、これからどのような避難所運営を行うか。

答弁 具体的には公民館・学校を早期に開設する。避難者間のスペースを十分に確保し、こまめな換気を行うなど感染症対策に取り組む。



新型コロナ対策で福岡市長へ緊急要望を行いました



公明党市議団では、6月1日に4回目となるコロナ感染症対策について緊急要望を光山副市長に行いました。

- ① 検査・治療体制など医療支援について
 - ② 学校・子育て育児の支援などについて
 - ③ 高齢者・障がい者の見守り支援について
 - ④ 事業継続の支援と休業者支援についてなど
- 22項目にわたり緊急申し入れを行いました。

今年度、全小中学生にタブレットを配布します



- ★ 中学3年生は、今年9月ごろまでに全員に渡せるように前倒しします。他の学年（小学生も含む）は、12月ごろを目標に1人1台のタブレットを準備します。
- ★ 今年の夏休みは、8月7日から19日までとなりました。
- ★ 全小中学校に消毒担当者を各1名、配置します。

福岡市の災害備品施設の点検視察を行いました



福岡市防災倉庫（博多区月隈）を視察しました。現在の福岡市の備蓄品は、公民館分と合わせて

- ① 水 27万本
- ② レトルト米など 18万食
- ③ パン 9万食
- ④ 粥 3.5万食
- ⑤ 栄養補助食品 3万食などです。

食品以外では、簡易トイレ、紙おむつ、アルミブランケット、生理用品、歯ブラシも備蓄されています。

また、ここには世帯単位のプライベート空間の確保として、段ボール間仕切り 1,500 セットや避難用テント 200 張り、簡易ベッド 400 台も備蓄されるようになりました。

今回の議会質問で追加補充としてスリッパ、ビニール手袋、体温計、消毒液が整備追加されると発表されました。

ご意見・ご質問・ご要望をお寄せ下さい

TEL: 711-4728 FAX: 741-4597 <議員控室>

山口つよし

《担当役職》

議会運営委員会副委員長

教育こども常任委員会委員

九大移転跡地対策協議会委員

